

二〇二二年六月一日(参加者一九名)

大原女の茶屋に宿りし緑雨かな	智恵子
茅屋根を洩るる緑雨の玉霰	なつき
緑雨なるセコイア並木艶増せる	隆松
大樹なき尼寺の庭花卯木	なつき
家事終へて安らぐ午后の緑雨かな	あひる
川床の卓片されてより緑雨来る	もとこ
卯の花の峠を越えて菓売	素秀
仔牛の眼瞬く牧の緑雨かな	なつき
修道院緑雨の森に訪ねけり	あひる
大水車回す卯の花腐しかな	宏虎
顔上げて緑雨を受ける露天風呂	素秀
水路閣レンガに染みる緑雨かな	よう子
門川に卯の花散らす垣根かな	はく子

モデル振り向いて緑雨の渡月橋	かかし
本堂の広縁ぬらす緑雨かな	せいじ
玻璃窓に灯籠歪む緑雨かな	よう子
白々と卯の花浮かぶ夕べかな	満天
洛北の緑雨に聳ゆ鷹峯	もとこ
眼福と思ふ緑雨の山の宿	ぼんこ
そこここに卯の花白き山路かな	明日香
緑雨やみ靄に隠るる峡の郷	ふさこ
塔頭の鎖樋落つ緑雨かな	わかば
地境のうつぎに両家和みけり	あひる

WEB句会みのる選・二〇二二年六月一日